

近代華商のマイノリティビジネスの展開とバイタリティ

国際商経学部 陳 來幸

キーワード

経済組織、中華総商会、マイノリティビジネス、華商ネットワーク、客家研究、国際移民比較

研究概要

近代における華商の海外展開のしくみとマイノリティが異文化社会に定着するためのプロセスと戦略について研究している。

主要テーマは下記の二つ。

1. 財政破綻に陥りながらも中国最後の専制王朝である清王朝は、外国との「商戦」を意識して中国版商業会議所である商会・総商会制度を創出した。かつては棄民とされた海外華僑の有力者たちは清朝政府の呼びかけに応じ、各地で中華総商会に結集し、このしくみによってはじめて本国と準公式にむすびついた。これが現在にも生き続ける特色ある華僑華人ネットワークの起点である。
2. 海外の華僑社会、とくに日本の華僑華人コミュニティに注目し、長くは5世代にわたり日本に定着した華僑たちがどのような経緯で来日し、どのような固有の地域的歴史的環境のもとで強みを生かしてビジネスに従事し、チャンスをつかんで転業し、日本社会に定着していったのかについて資料や口述を進めつつ説明している。

アピールポイント

神戸華僑歴史博物館副館長・神戸華僑華人研究会代表世話人・神戸市外国人市民会議座長を兼任。日本華僑華人学会会長・孫文記念館副館長などを歴任。その他孫文研究会、現代中国学会、中国現代史研究会などの理事・各種委員などの役員を歴任。暨南大学華僑華人研究所客座研究員、『広東華僑史』顧問。

応用分野

- ・多文化共生制度の創出
 - ・マイノリティビジネス論の定着
-